

第2次 健康たきかわ21 後期アクションプラン

平成30年度～平成35年度(2018年度～2023年度)

25年度

計画スタート!

29年度

中間評価

30年度

後期計画スタート

35年度

最終年度

K O U
A C T I O N P L A N

平成
30年4月

滝川市

第2次健康たきかわ21アクションプランとは

すべての市民が生涯を通じてすこやかに心豊かに生活でき、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間(健康寿命)をできるだけ伸ばしていくことを目標に、平成25年4月に策定された健康増進計画です。

前期5年間の実績や市民アンケート結果による中間評価に基づき、平成30年4月1日より、後期アクションプランがスタートします。



滝川市民の健康は、どのようなことが課題となっているのでしょうか?

～第2次健康たきかわ21アクションプラン中間評価からわかったこと～

ポイント①

妊婦と小学生で、朝食を欠食している人が多い傾向です。また、国と比較すると成人男性の欠食率が高い状況です。

ポイント②

日常的に運動習慣のある女性が減少傾向です。64歳以下では男女ともに一日の歩数が減少しています。

ポイント③

睡眠を助けるため、睡眠導入剤やアルコールを服用する方が女性の60歳代と男性の全世代で増加傾向です。服用するものはアルコールが一番多い状況です。

ポイント④

妊娠している人のパートナーや赤ちゃんのお父さんの喫煙率が50%と高い状況です。また国と比較して女性の喫煙率が高い状況です。

ポイント⑤

歯みがき習慣は定着していますが、歯みがきで出血する人の割合が20～30歳代で顕著に高く、歯間清掃具の使用割合は全年代で低い状況です。

ポイント⑥

特定健診、がん検診の受診率が低く、健診結果からは、全道に比べて高血圧と糖尿病の有所見率が高い状況です。